

2016年2月3日

四国電力株式会社

取締役社長 佐伯 勇人 様

〒790-0003 松山市三番町5-2-3ハヤビル3F
電話 089-948-9990

伊方原発をとめる会

事務局長 草薙順一

質問書

以下4点について質問します。2月12日に当会が別途「申入書」提出のため貴社原子力本部に伺う際にご回答ください。

(1) クリフエッジについて

855ガルとされていた伊方3号機のクリフエッジ(これを超えると破壊に至る限界)が、現時点でいくらになっているのかを示してください。

(2) 佐田岬半島の段丘分布について

12万年以降の断層活動を評価する上で中位の海成段丘は重要な指標です。以下、添付の貴社資料を元に質問します。(添付資料以降の新たな資料があれば示してください。)

- ① 伊方原発の東から JR 串駅付近まで、高位の段丘は分布するが、中位の海成段丘は分布しないとされています。高位段丘に比して、日本で最も広く分布し、かつ保存も良いとされる中位段丘がこの区間に分布しない地質学的・地形学的な理由と、判断の根拠を示してください。
- ② 伊方原発から JR 串駅に至る範囲での H3 段丘の段丘堆積物について、赤色化等の岩石学的特徴の記載記録を示してください。
- ③ 肱川周辺に分布するとされる高位段丘堆積物についても、岩石学的特徴の記載記録を示してください。

(3) 制御棒が間に合わない場合等の対処について

直下または伊方沖の中央構造線活断層帯で地震が発生した際など、制御棒挿入が間に合わない、または制御棒が入らない事態への対応について示してください。

(4) 使用済み核燃料等について

どこにも行き先の決まっていないMOX燃料も含め、使用済み核燃料の処分をどうするかについて示してください。

以上